

トピックス

～『オール矢崎体育大会』8年ぶりの復活開催～

矢崎総業株式会社

2016年11月5日(土)、矢崎グループでは静岡県掛川市の「ヤマハリゾートつま恋(以下、つま恋)」にて、1) グループの一体感の醸成、2) 横のつながりの強化、3) 矢厚会(拠点ごとの厚生組織)活動の活性化、を目的とした「オール矢崎体育大会」が8年ぶりに復活開催されました。

東京オリンピックが開催された1964年に始まり、通算46回目を数えるこの体育大会は、体育部を中心とした硬派な真剣勝負の競技型種目、また従業員の家族も参加したり事業所単位で競う参加型の種目まで、時代に合わせた幅広い競技から構成されているのが特徴です。

いよいよ迎えた大会当日。幸い天候にも恵まれ、従業員とその家族、約3600人が緑に囲まれた会場で、競技に応援にと、皆一様に大いに汗をかきながらスポーツの秋を満喫しました。

ところで、長年にわたり矢崎の体育大会の会場として用いられた「つま恋」。我々にとってはいわば“スポーツの聖地”とも言える馴染の深い場所です。ところが、大会の準備をしている最中の9月に、年内一杯で経営母体、業態共に変わることが正式に決まったとのニュースが飛び込んできました。一報を聞いたときは一抹の寂しさを感じましたが、ものは考えよう、「つま恋」は8年間我々を待っていてくれたのだと思い直し、準備に一層力が入りました。単なる復活開催だけでなく、この点でも今回の大会は、矢崎の従業員にとって大変思い出深いものとなりました。

大盛況のうちに幕を閉じたオール矢崎体育大会。その確かな手応えから、このほど来年以降も継続されることが決まりました。

この大会をもっと楽しく、もっと意義のあるものに育てていくのは、他ならぬ我々従業員一人ひとりだという思いを強く感じているところです。



